

フランス生まれ フォレストアドベンチャー

遊べる森で地域活性化

林野庁事業
優良事例に

山間地にぴったりに

自然の森をそのまま利用して、遊んじゃおうアドベンチャーが注目を集めている。樹木に足場を作って樹間を縄はしごやロープでつなぎ、登ったり渡ったり降りたりする遊び。林野庁補助事業の森業・山業創出支援総合対策事業の優良事例に選ばれた。同事業の森業・山業事務局は「農山村や林業の活性化の起爆剤の一つになる」と期待している。

フォレストアドベンチャー。フランスでの人気をヤリの開設を推進している。見て、山間地の多い日本のは、東京都港区の(株)でも楽しめるとして、PパシフィックネットワーRしている。3〜15歳の



高さの樹間を移動するたワクワク感やゾクゾク感、子どもから大人までを感ぜられる。農山村や

林業活性化のため、都会から人を呼び込める施設としても期待される。基本的なコースは、樹間のロープをつたって、2〜3時間で回るもの。木を登ったり渡ったりと、簡単に忍者気分が味わえる。

5歳以上の子ども向け、大人向け、親子向け、上級者向けと4つの中間のコースを作れる。資材はフランスのアルタス社から直輸入する。2〜3時間で回るコースは、総額で4000万円前後の費用だ。

全工程で転落防止フックを装着するため、安心して遊べる。コースは、

日本の場合、スキー場やホテルに隣接する森林を有効活用できるとともに、森の環境保全にも有効だ。パシフィックネットワークは「冬はスキー、春から秋はフォレストアドベンチャーといっ

フランスでは簡単に森と親しみ、遊べると人気だ (パシフィックネットワーク提供)

た設定が考えられる。利用料金を取るため、1年中収入が得られるのも強みで、地域の活性化にも役立てる」と話す。インターネットで、「フォレストアドベンチャー」を検索すれば詳しい情報を見ることが出来る。